

---

## ショートショート劇場 テーマ『クリスマス』

8 4 g

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ショートショート劇場 テーマ『クリスマス』

### 【Zコード】

Z7247P

### 【作者名】

84g

### 【あらすじ】

アドリブで書いた短編小説です。

本当は24日に投稿したかったんですが、この作品の主人公と同じで24日は人生で一番くらい忙しいので無理でした。

今日はクリスマスイヴだが、オレには関係ない。

どんなに頼んでも仕事は休ませてもられないし、寒いし、給料安いし、テレビで小田和正観てーのに。

他のビーでもいい日には休日が貰えるのに、一番楽しい日には休日が貰えねー。

つつーか、12月23日が休日つておかしくねーか？

天皇様の誕生日つてのはわかるけどよオ、キリストを見習つて24日に生まれるよなー。

オレだつてシャンパン飲んで、女房の作つたウサギ肉のシチュー食つて寝たいんだよなあ、ニンジンが星の形に切つてあるヤツ。

「あ、あの…部長…その、着きました、タナカさんの家です」

運転手の女の子がオドオドと云つたのを聞き、見下ろせば確かにそこは目的地、タナカアキラとタナカコウキ兄弟が住んでいる家だ。

「ああ、サンキューね、サリーちゃん。もつルドルフより運転上手いんじゃねーの、オヤジ越えてるよ、マジド」

前まではオレの運転手をやつていたのはこの娘の父親だったのだが、訪問先で用意されるケーキだのクッキーだのを食いまくり、糖尿病と通風と虫歯を併発して引退、去年から彼女が運転手をしてくれている。

「あ、はい、ありがとうございます、部長」

「じゃあさ、寒いだろつけどちょっと待つてよ、すぐこ終わらせるからさ」

オレはソリから飛び降りて、タナカ兄弟の自宅の屋根に着地した。日本家屋は住むには良いが、オレたちには優しくはない。煙突もないし、屋根の上もどんどん歩きにくくなる。

瓦の屋根にやつと慣れたと思つたら今度はソーラーパネルときた。その上を歩く人間のことを考えて欲しいものだ。

オレは事前に調べていた兄弟の部屋の窓を目差し、ソーラーパネルを踏み割らないように慎重に歩き出した。

窓の鍵が閉じていれば、特技の忍法・壁抜けの術を使うしかないが、このタナカ家に限つては鍵以前に半分開いていた。無用心つっこか、カゼでもひいたらどうするんだつーの。

窮屈な窓に足を掛け、オレは軽やかに忍者のように部屋に入ったが、やはり室内も外よりは暖かいがそこそこに冷えている。

「…ああ、アキラとユウキって名前だからてつきりブランザーズかと思ったが…シスターーズの方か」

一段ベットに寝ていたのは女の子がふたり。

なんでこう、日本の名前つてのは判り難いんだ？ 男女も判らない名前なんて不便なだけじゃねーか。

非合理的をワビサビだと勘違いしてんじゃねーか。

しかも冷えた室内なのに掛け布団を半分ふつ飛ばしている。ふとんをふつとばすな、ってか。

「…ん、なんだコレ」

枕元に置いてあつたのはクレヨンか何かで描いたんだろう、オレと自分たちを描いたらしい上手くもねえイラスト。

下にはヘタクソなひらがなで、『えんとつなくてごめんなさいかえるときまどしめて』の文字。

「…バカかオメーら、入れたいだけなら鍵を開けときやいいだけだろーが。プレゼントの要望も書かねーで…」

来たのにプレゼントをしないのもバカバカしいし、ふたりで分けられるようにたっぷりのキャンディーとチョコレートを置いていくことにした。

バカなふたりのために、ハミガキも一緒に置いていつてやる。ルドルフみてーに虫歯になつたら痛い思いをするからな。

「部長、なにか…良いことあつたんですか?」

「ん? なにが?」

オレがソリに戻ると、サリーちゃんがそう云つた。

…もちろん、ソリに戻るときは姉妹に布団を掛けなおし、内側から窓とカーテンをビシッと閉め、壁抜けで出てきてやつた。

「部長今、すひーじー、ヤーヤーしてます」

給料安いしキツイが、この仕事は嫌いにならない自分が不思議だ。

(後書き)

アドリブで書いている作品ですが、普通に酷評・絶賛ともに歓迎。  
忌憚の無い意見、つてヤツは隨時募集中です。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7247p/>

---

ショートショート劇場 テーマ『クリスマス』

2010年12月31日00時59分発行